

意見を論理的に述べる

国語監修・執筆

齋藤 祐

■ 今回のポイント

- ① 論理的な文章とは？
- ② 小論文の種類？
- ③ 意見と根拠

■ 今回の言語活動

「意見と根拠を述べる」

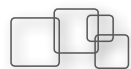
【活動の手順】

- ① テーマを把握する
- ② YES / NO で答えてみる
- ③ 根拠を考える

【ポイント】

今回は「あいさつは必要か？」というテーマでスタジオのみんなに考えてもらいます。「あいさつは必要か？」なんて、普段考えることはありません。しかし、このような一見当たり前のテーマについて、あえて「YES / NO」の答えにわかるような「問い」を投げかけることで、当たり前を疑い、思考を深めることができます。

意見を論理的に述べることは、自分の正しさを主張するためというよりは、相手の納得解を引き出すためにこそ必要とされるのです。このような活動によって、自分の意見の由来や確からしさを、あらためて見つめなおすことができるようになります。話題を具体的にしほり、明確な意見や根拠を出せるようにしましょう。



■ 今回のまとめ

「意見を論理的に述べる」ためには、自分の「意見」に必ず「根拠」を添えることが大切です。どのような「根拠」を用意できるかによって、相手への説得力は変わります。「論理」とは「論じたことの筋道をたどれば、誰でもが同じような考えに至るような説明」のことです。言葉はつねに、解釈の多様性をはらんでいます。そのような言葉の達人になるためには、自分の言葉をどれだけ説得的に組み立てることができるかどうか、が問われるのです。

普段から慣れ親しんでいる言葉だからこそ、できる限り意識的に取り組むことによって「論理」の内実を奥深く理解することができますようになります。それはそのまま、言葉を介した生活の豊かさに直結しているのです。言葉の奥行きについて思いをはせることができるようになれば、皆さんの日常生活はきっとこれまでよりもっと美しく、かつ、奥行きのあるものになっていくはずです。